

4 月 14 日：VN 指数は 3 営業日連続で上昇 (VN-Index +1.55%)

- VN 指数は前営業日の引け値を上回って取引を開始し、好調な滑り出しとなった。
- 一方、銘柄間の騰落にはばらつきが見られ、キャッシュフローは控えめだった。
- 建設資材と不動産株が上昇をけん引したが、銀行と金融サービスセクターは調整した。
- しかし、後場にはこれらのセクターに買いが入り、市場はバランスよく上昇した。
- そのため、指数は徐々に上昇し、本日の最高値付近で取引を終えた。
- 311 銘柄が上昇、179 銘柄が下落、48 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 36.5%減の 24.2 兆ドンとなった。

VN30 指数はやや出遅れ (VN-30 +1.22%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 16 銘柄が上昇、11 銘柄が下落、3 銘柄の横ばいを記録した。
- VIC (+6.91%)、VHM (+6.92%)、MWG (+6.99%) が上昇をけん引した。
- 一方、銀行株の SSB (-4.25%)、LPB (-1.02%)、TPB (-1.14%)は足かせとなった。

セクター・個別株の動き

- HPG (+4.32%)は、HRC 製品を EU に輸出する際の関税率が 0%なのが好感された。一方、他の鉄鋼会社 HSG (-0.69%)、NKG (-1.20%)は関税率が 12.1%と苦戦を強いられた。
- MWG (+6.99%)、FRT (+6.41%)、DGW (+4.86%) は、トランプ氏がスマートフォンとコンピュータの相互関税を免除したことで急上昇した。
- 外国人投資家は 1,130 億ドンを売り越した。FPT (0.00%) が最も売り越された。一方、買い越しは HPG (+4.23%)、ACB (-0.20%)、VHM (+6.92%)などに集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。